

国立大学法人京都工芸繊維大学職員懲戒規則の一部改正について（案）

新 旧 対 照 表

_____は改正箇所を示す。

現 行 条 文	改 正 後
<p>第1条から第4条まで （略）</p> <p>（調査委員会の設置）</p> <p>第5条 学長は、前条に規定する報告を経て、速やかに調査委員会を設置して事実関係を調査するものとする。ただし、前条に規定する報告が、<u>セクシュアル</u>ハラスメント等に係る事案にあつては京都工芸繊維大学における<u>セクシュアル</u>ハラスメントの防止等に関する規則（平成16年4月1日制定）の定めるところにより、役職員倫理に係る事案にあつては国立大学法人京都工芸繊維大学役職員倫理規則（平成16年4月1日制定）の定めるところにより、研究活動の不正行為に係る事案にあつては京都工芸繊維大学における研究活動の不正行為の取扱いに関する規則（平成20年3月27日制定）の定めるところにより、公的研究費の不正な使用に係る事案にあつては別に定めるところにより当該事実関係を調査するものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>第6条から第17条まで （略）</p> <p>附 則 （略）</p>	<p>第1条から第4条まで （略）</p> <p>（調査委員会の設置）</p> <p>第5条 学長は、前条に規定する報告を経て、速やかに調査委員会を設置して事実関係を調査するものとする。ただし、前条に規定する報告が、ハラスメント等に係る事案にあつては京都工芸繊維大学におけるハラスメントの防止等に関する規則（平成16年4月1日制定）の定めるところにより、役職員倫理に係る事案にあつては国立大学法人京都工芸繊維大学役職員倫理規則（平成16年4月1日制定）の定めるところにより、研究活動の不正行為に係る事案にあつては京都工芸繊維大学における研究活動の不正行為の取扱いに関する規則（平成20年3月27日制定）の定めるところにより、公的研究費の不正な使用に係る事案にあつては別に定めるところにより当該事実関係を調査するものとする。</p> <p>2 （略）</p> <p>第6条から第17条まで （略）</p> <p>附 則 （略）</p> <p>附 則</p> <p><u>この規則は、平成29年10月1日から施行する。</u></p>